

2015年7月17日  
株式会社日本政策金融公庫  
総合研究所

# 全国中小企業動向調査結果

(2015年4-6月期実績、7-9月期以降見通し)

## 小企業の景況

(原則従業員20人未満)

### 小企業の景況は、持ち直しの動きがみられる

(前回)先行き懸念はあるものの、持ち直しの動きがみられる

- 業況判断DIは、2期連続でマイナス幅が縮小し、▲26.5となった。  
来期はマイナス幅が拡大する見通し。 ← 5ページ
- 売上DIは、2期連続でマイナス幅が縮小し、▲20.5となった。  
来期はマイナス幅が拡大する見通し。 ← 10ページ
- 採算DIは、マイナス幅が縮小し、▲13.8となった。  
来期はマイナス幅が拡大する見通し。 ← 11ページ

#### ■ 主要DI(カッコ内は前回調査からの変動幅)

業況判断DI	売上DI	採算DI	資金繰りDI	借入DI
▲26.5(+3.1)	▲20.5(+4.2)	▲13.8(+5.5)	▲18.0(+6.1)	▲6.9(+2.8)

## 中小企業の景況

(原則従業員20人以上)

### 中小企業の景況は、緩やかに回復している

(前回)緩やかに回復している

- 業況判断DIは、前期から上昇し、2.8となった。  
来期以降は上昇する見通し。 ← 17ページ
- 売上DIは、前期から上昇し、3.6となった。  
来期以降は上昇する見通し。 ← 20ページ
- 純益率DIは、前期から上昇し、▲5.7となった。  
来期以降は上昇する見通し。 ← 21ページ

業況判断DI	売上DI	純益率DI	資金繰りDI	長期借入難易DI
2.8(+3.8)	3.6(+1.9)	▲5.7(+2.0)	6.4(-1.6)	13.6(+0.1)

#### <お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:桑本、清野)  
中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1703(担当:金子、神谷)  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

## 目次

調査結果の概要	1
---------	---

### 【小企業編】

概況	3
調査の実施要領	4
業況判断	5
売上	10
採算	11
資金繰り、借入	12
経営上の問題点	13
設備投資、価格動向	14

### 【中小企業編】

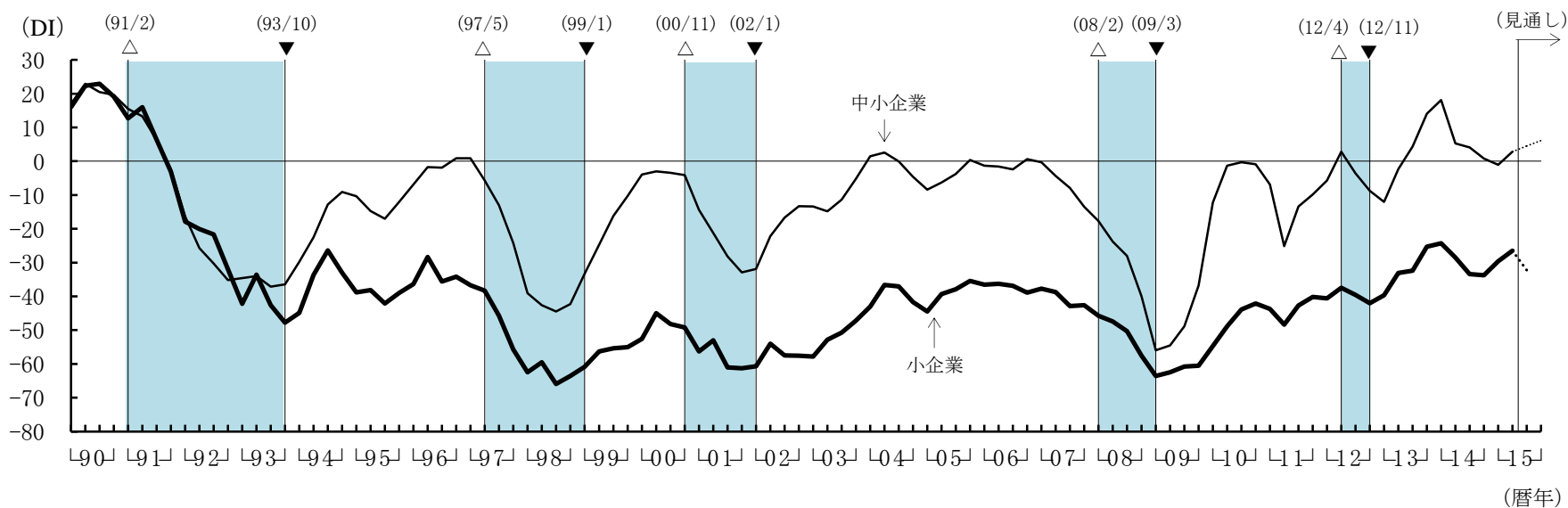
概況	15
調査の実施要領	16
業況判断	17
売上	20
利益	21
価格、金融関連	22
雇用、設備	23
経営上の問題点	24

# 調査結果の概要

## 1 業況判断DIの推移

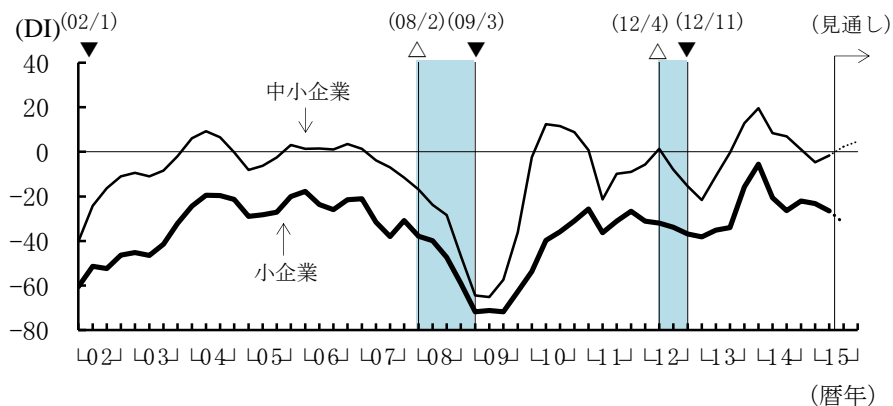
### ①全業種計

	13.4-6	13.7-9	13.10-12	14.1-3	14.4-6	14.7-9	14.10-12	15.1-3	15.4-6	15.7-9 見通し	15.10-12 見通し
中小企業	▲ 2.3	4.3	14.1	18.1	5.3	4.1	0.8	▲ 1.0	2.8	4.5	6.1
小企業	▲ 33.1	▲ 32.4	▲ 25.3	▲ 24.3	▲ 28.5	▲ 33.4	▲ 33.8	▲ 29.6	▲ 26.5	▲ 32.2	-



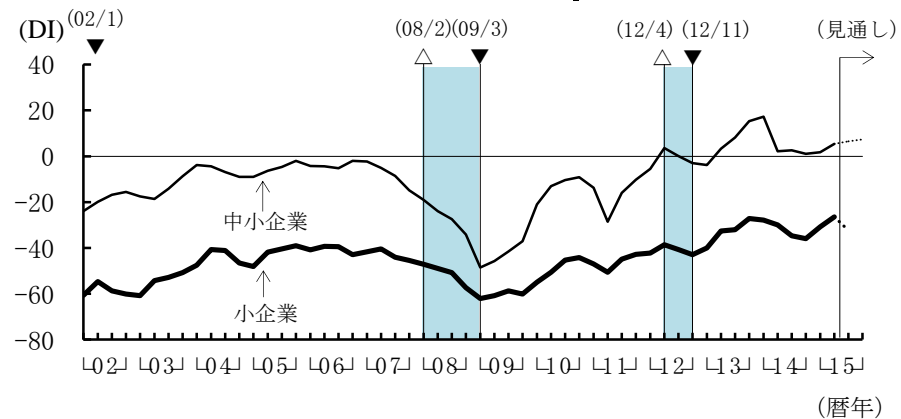
### ②製造業

	14.10-12	15.1-3	15.4-6	15.7-9 見通し	15.10-12 見通し
中小企業	1.1	▲ 4.6	▲ 1.6	2.3	4.7
小企業	▲ 22.1	▲ 23.2	▲ 26.5	▲ 32.0	-



### ③非製造業

	14.10-12	15.1-3	15.4-6	15.7-9 見通し	15.10-12 見通し
中小企業	1.1	1.8	5.4	6.5	7.3
小企業	▲ 36.0	▲ 30.8	▲ 26.5	▲ 32.3	-

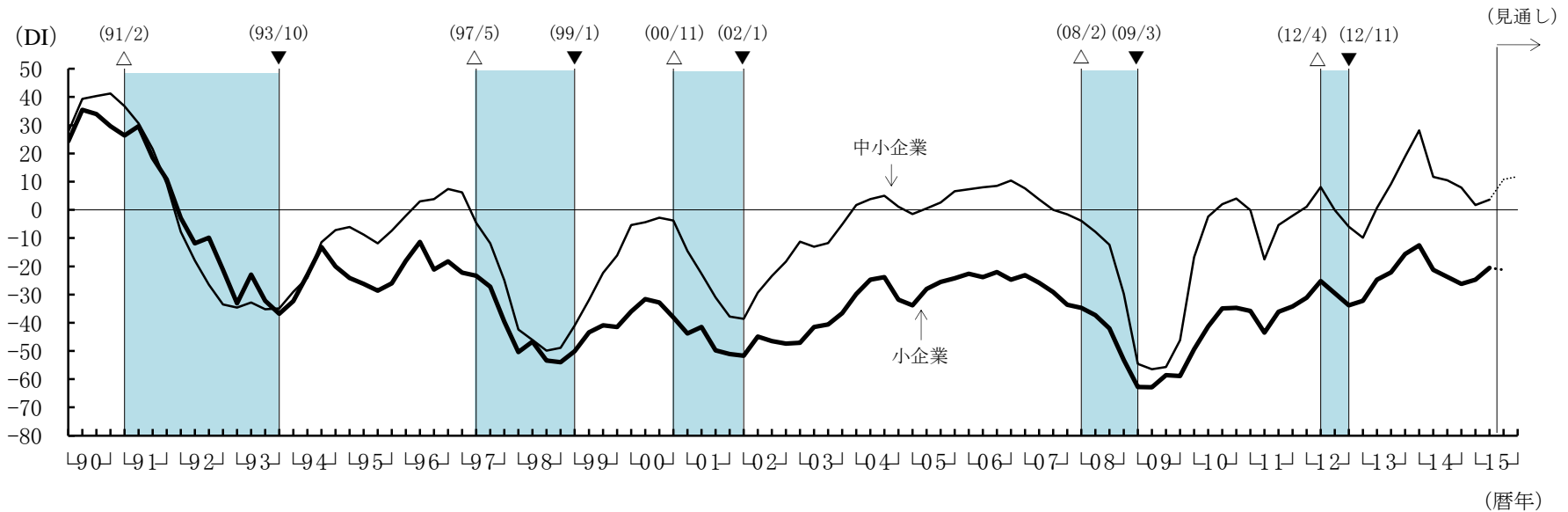


- (注) 1 小企業のDIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 中小企業のDIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値(季節調整済)。  
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す(以下同じ)。

## 2 売上DIの推移

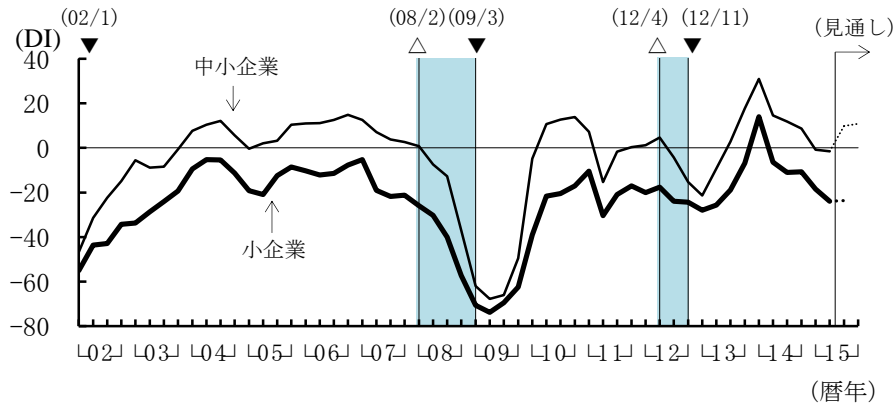
### ①全業種計

	13.4-6	13.7-9	13.10-12	14.1-3	14.4-6	14.7-9	14.10-12	15.1-3	15.4-6	15.7-9 見通し	15.10-12 見通し
中小企業	0.8	9.2	18.9	28.2	11.7	10.5	7.9	1.7	3.6	10.8	11.8
小企業	▲24.7	▲22.1	▲15.6	▲12.5	▲21.3	▲23.8	▲26.2	▲24.7	▲20.5	▲21.2	-



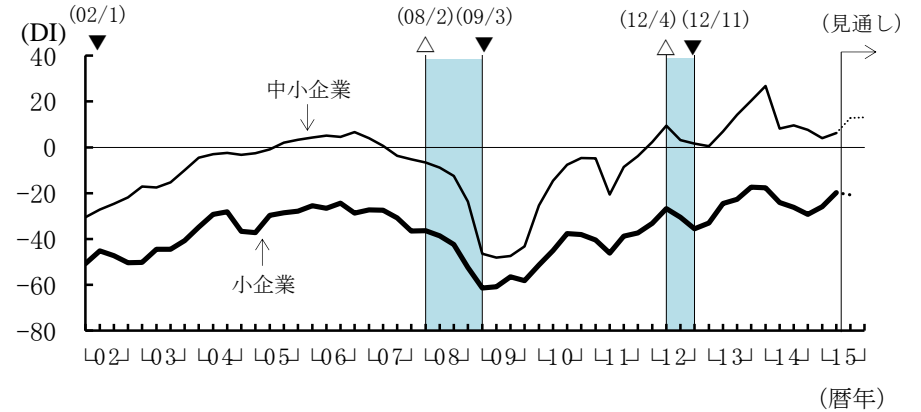
### ②製造業

	14.10-12	15.1-3	15.4-6	15.7-9 見通し	15.10-12 見通し
中小企業	8.7	▲0.8	▲1.5	9.8	10.8
小企業	▲10.8	▲18.5	▲24.0	▲23.6	-



### ③非製造業

	14.10-12	15.1-3	15.4-6	15.7-9 見通し	15.10-12 見通し
中小企業	7.6	4.0	6.2	12.8	13.0
小企業	▲29.2	▲25.9	▲19.8	▲20.8	-



- (注) 1 小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 中小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値 (季節調整済)。

# 小 企 業 編

(2015年4－6月期実績、7－9月期見通し)

## 小企業の景況は、持ち直しの動きがみられる

### [概況]

- ・ 業況判断DIは、前回調査（2015年1-3月期）に比べてマイナス幅が3.1ポイント縮小し、▲26.5となった。来期は、マイナス幅が拡大する見通しとなっている。
- ・ 業種別にみると、製造業は2期連続でマイナス幅が拡大し、▲26.5となった。非製造業は2期連続でマイナス幅が縮小し、▲26.5となった。来期は、製造業、非製造業ともに、マイナス幅が拡大する見通しとなっている。
- ・ 売上DIは、2期連続でマイナス幅が縮小した。来期は、マイナス幅が拡大する見通しとなっている。
- ・ 採算DIは、マイナス幅が縮小した。来期は、マイナス幅が拡大する見通しとなっている。

[調査の実施要領]

調査時点 2015年6月中旬  
 調査対象 当公庫取引先 10,000 企業  
 有効回答数 6,284 企業 [回答率 62.8 %]

<業種構成>

	調査対象	有効回答数	
製造業 (従業者20人未満)	1,500 企業	1,000 企業	(構成比 15.9 %)
卸売業 (同 10人未満)	800 企業	540 企業	(同 8.6 %)
小売業 (同 10人未満)	2,450 企業	1,514 企業	(同 24.1 %)
飲食店・宿泊業 (同 10人未満)	1,800 企業	1,011 企業	(同 16.1 %)
サービス業 (同 20人未満)	2,000 企業	1,278 企業	(同 20.3 %)
情報通信業 (同 20人未満)	160 企業	92 企業	(同 1.5 %)
建設業 (同 20人未満)	1,100 企業	723 企業	(同 11.5 %)
運輸業 (同 20人未満)	190 企業	126 企業	(同 2.0 %)

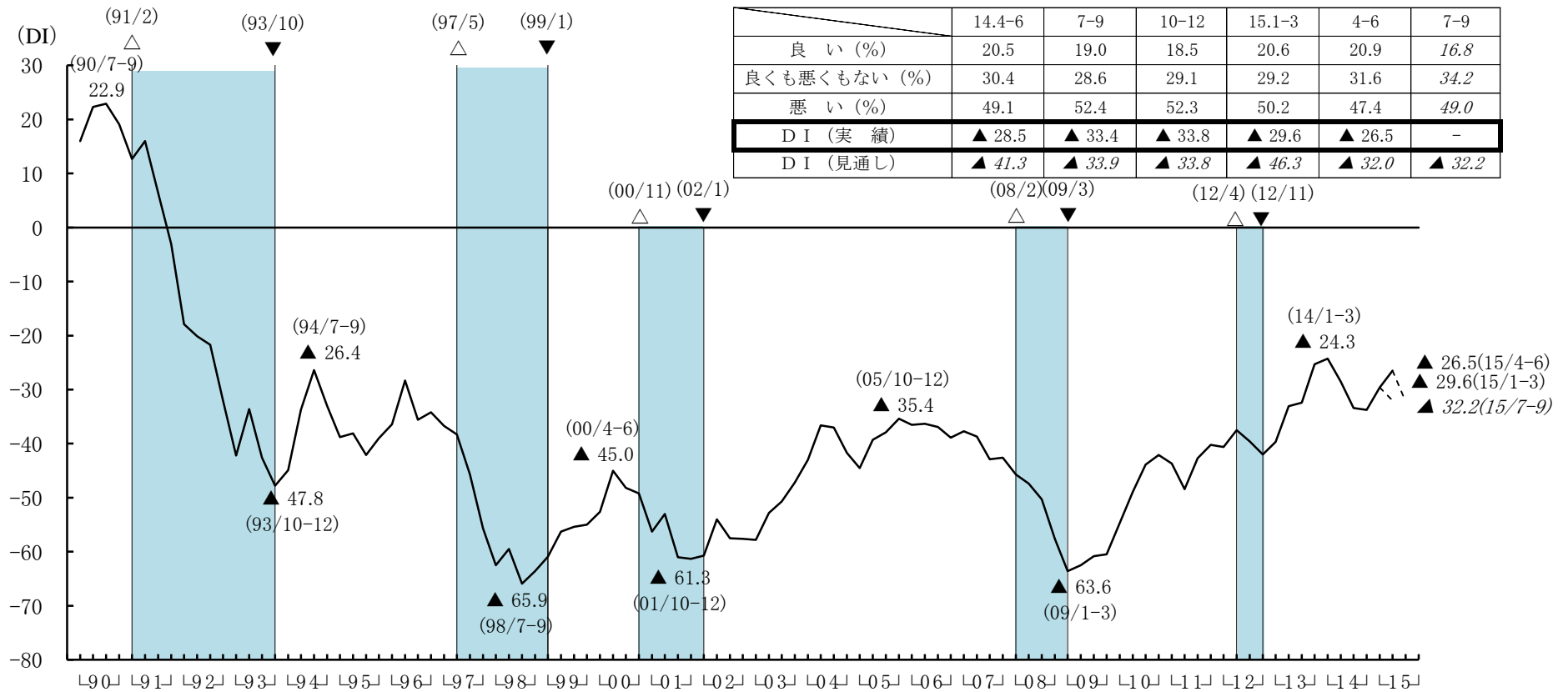
(参考)

法人	4,085 企業	(構成比 65.0 %)
個人	2,199 企業	(同 35.0 %)

# 1 業況判断

- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前回調査（2015年1-3月期）に比べてマイナス幅が3.1ポイント縮小し、▲26.5となった。マイナス幅の縮小は、2期連続である。来期は、マイナス幅が5.7ポイント拡大し、▲32.2となる見通しとなっている。
- 業種別にみると、製造業は2期連続でマイナス幅が拡大し、▲26.5となった。一方、非製造業は2期連続でマイナス幅が縮小し、▲26.5となった。非製造業を構成する大分類業種のうち、情報通信業、建設業、運輸業を除く全ての業種で、マイナス幅が縮小した。来期は、製造業、非製造業ともに、マイナス幅が拡大する見通しとなっている。
- 地域別にみると、東海、九州を除く全ての地域でマイナス幅が縮小した。来期は、全ての地域でマイナス幅が拡大する見通しとなっている。

図-1-1 業況判断DIの推移（全業種計）

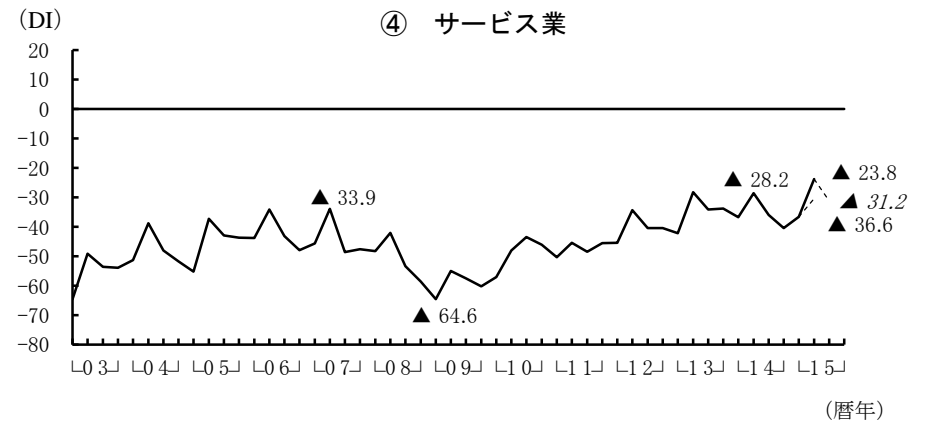
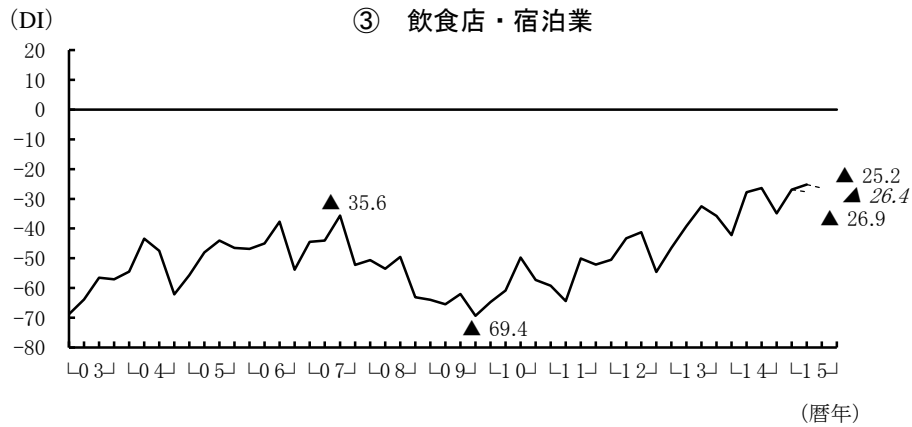
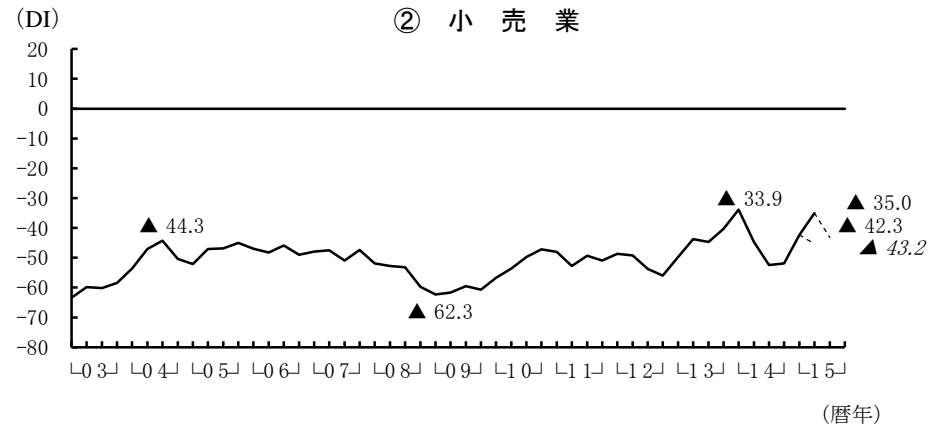
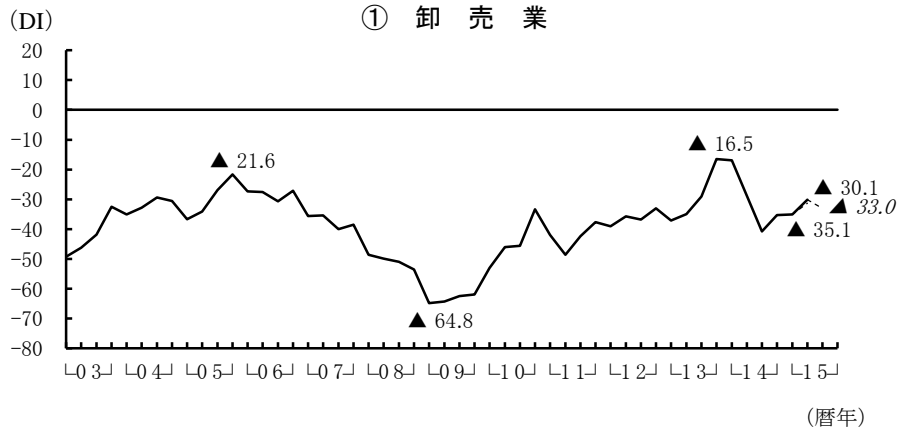
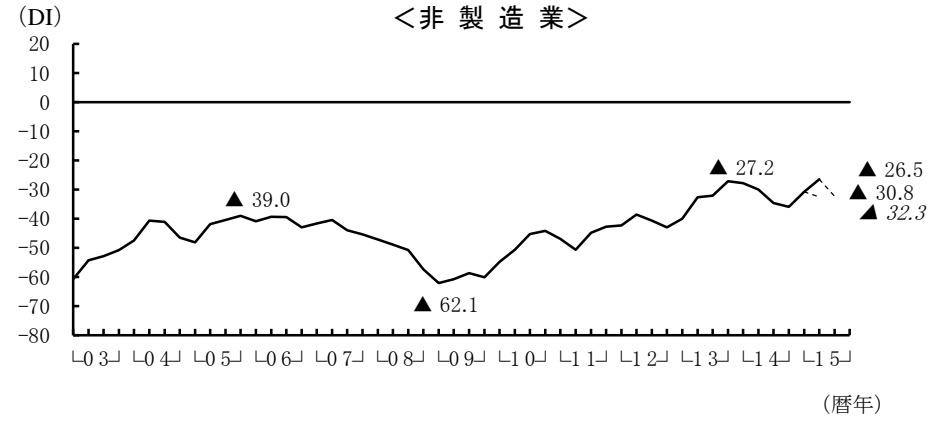
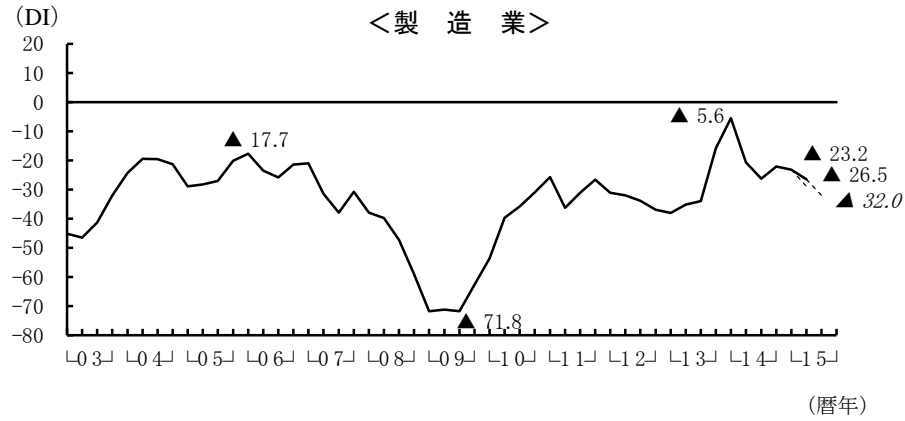


(注) 1 DIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。

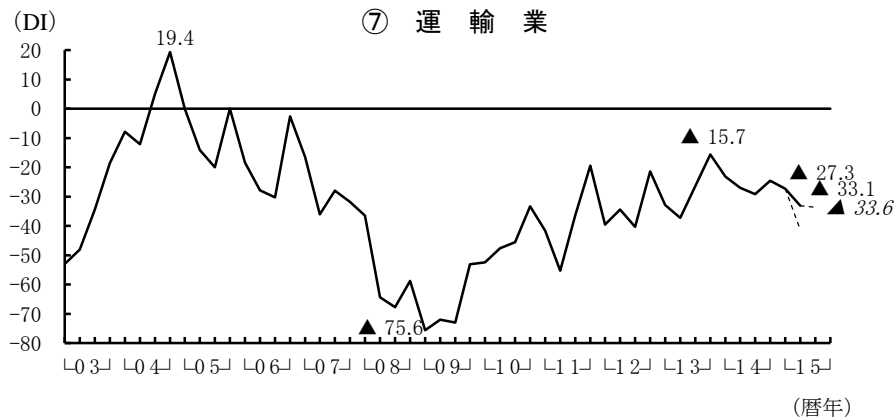
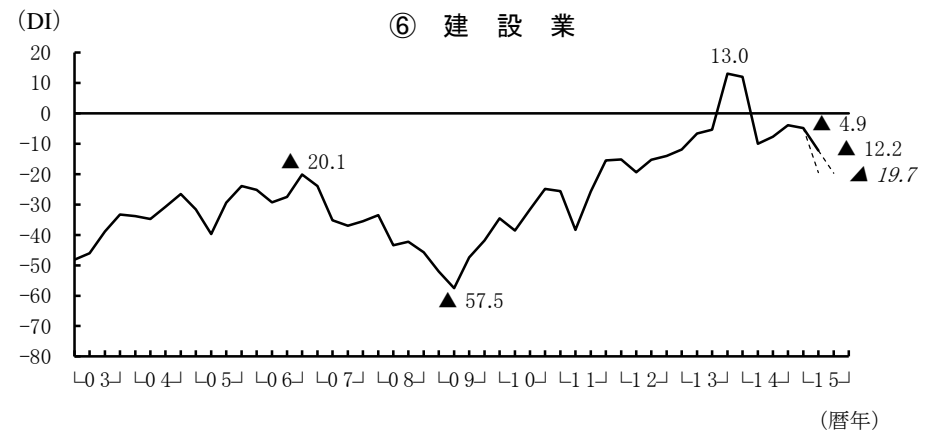
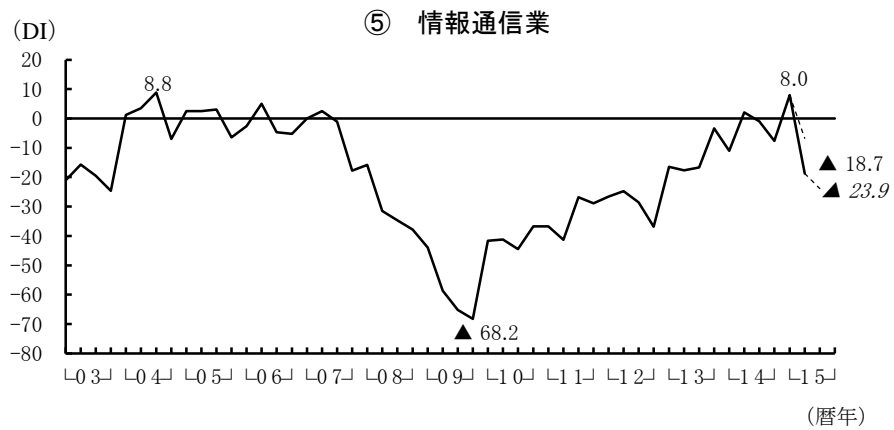
2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

(暦年)

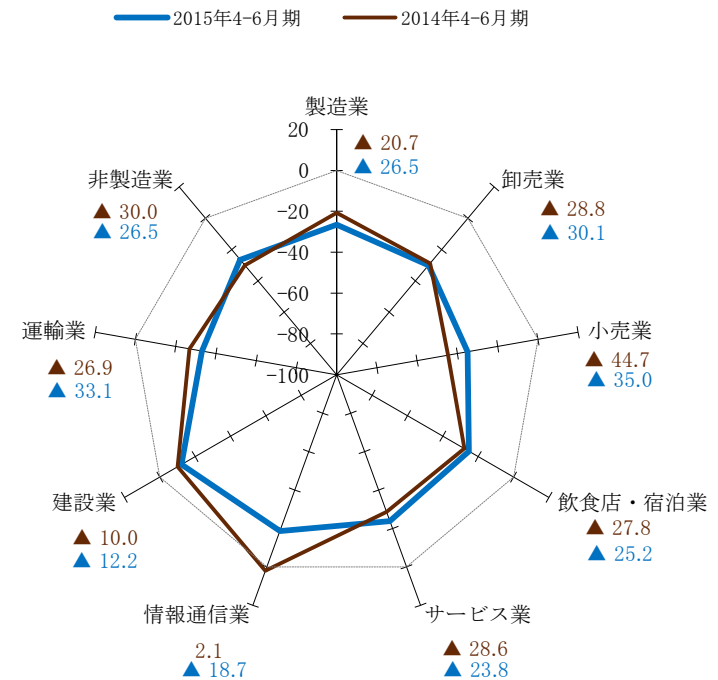
図-1-2 業種別業況判断DIの推移







(参考2) 1年前 (2014年4-6月期) の水準との比較



(注) 各業種の値は、上段が1年前、下段が今期を示している。

(参考1) 個人向けサービス業と事業所向けサービス業の業況判断DIの推移

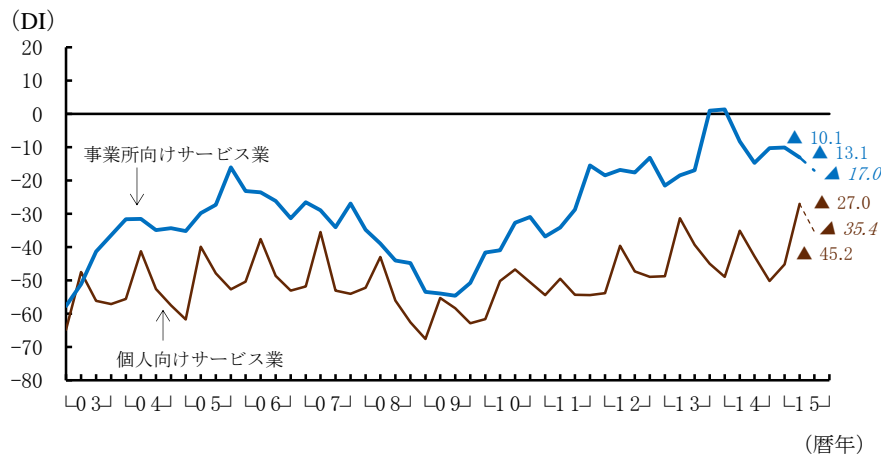
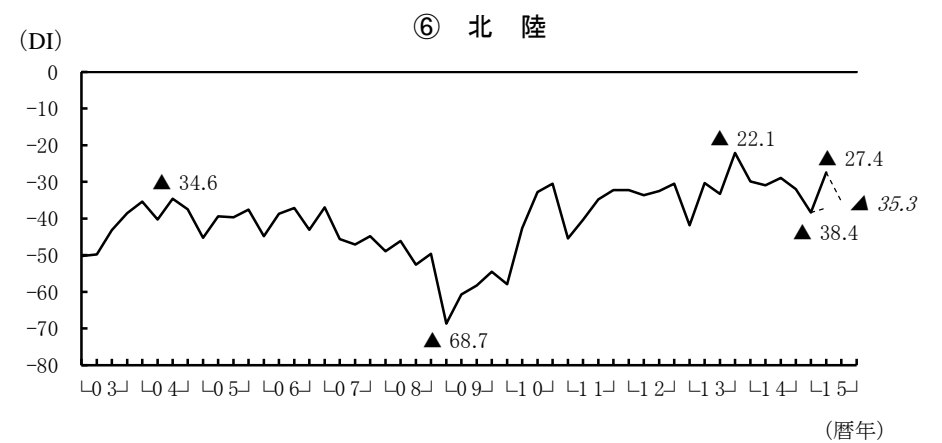
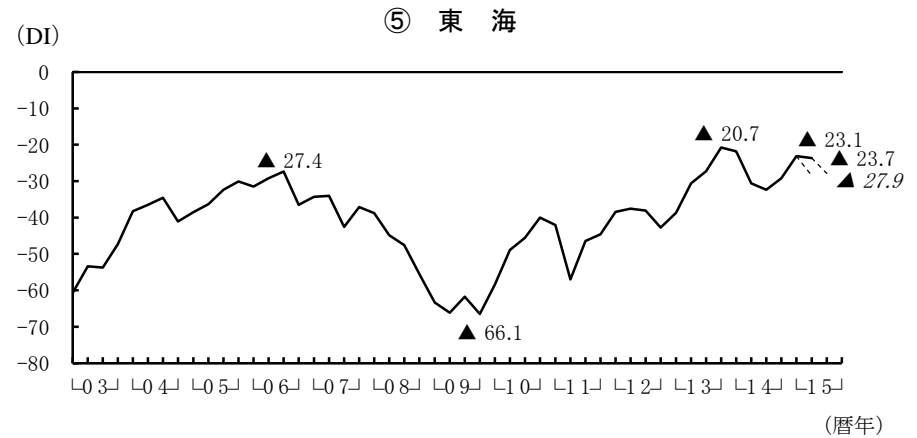
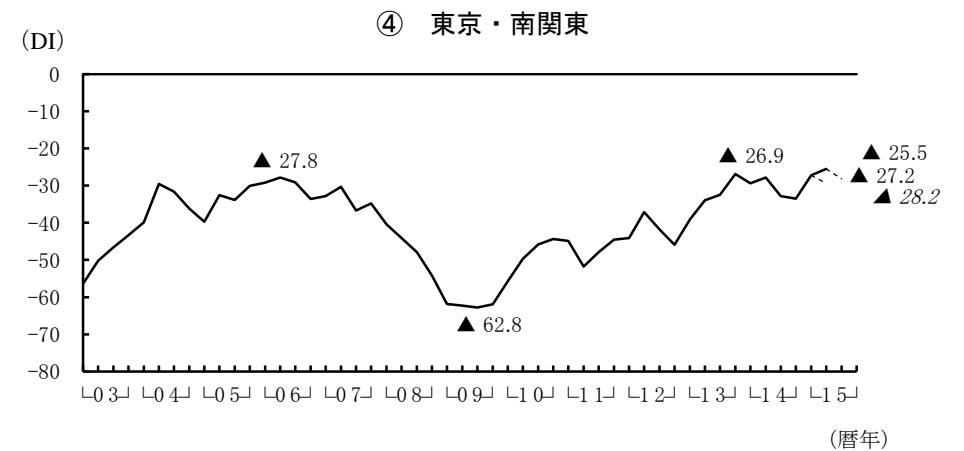
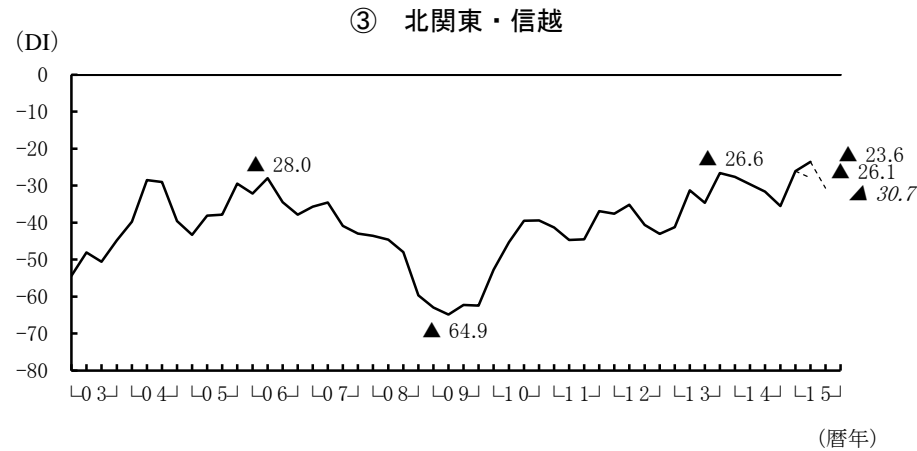
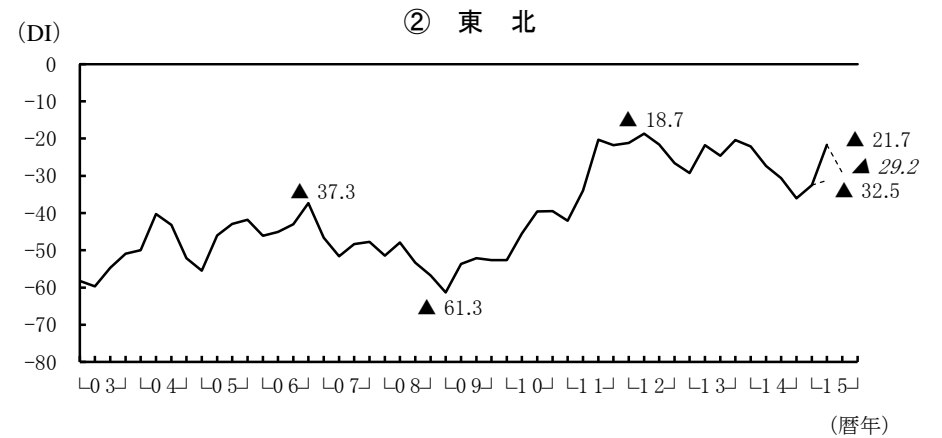
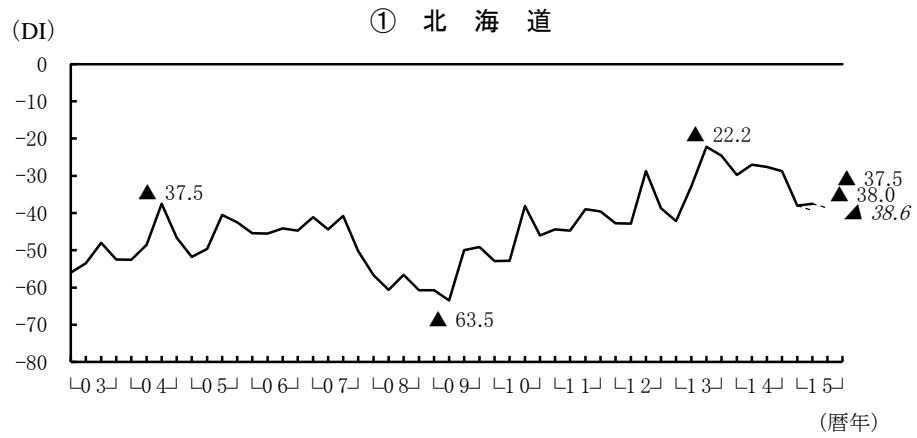
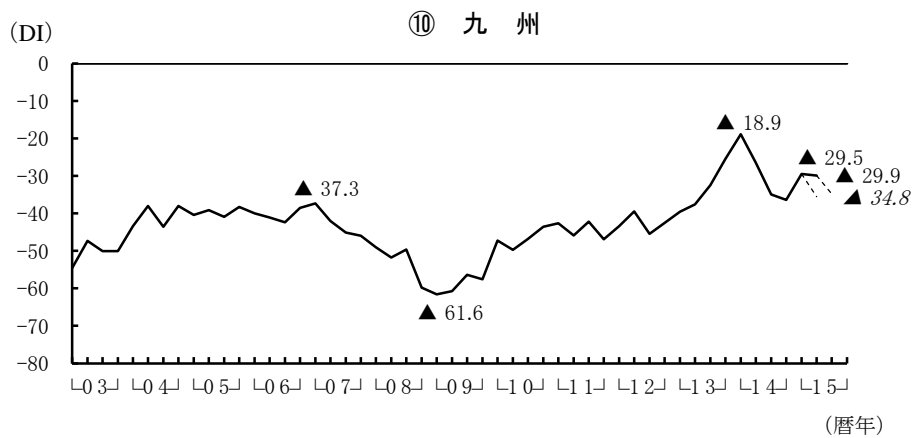
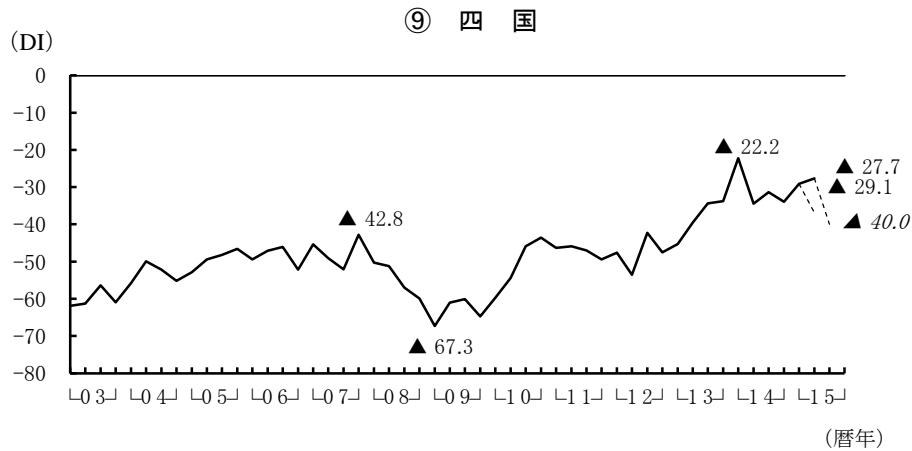
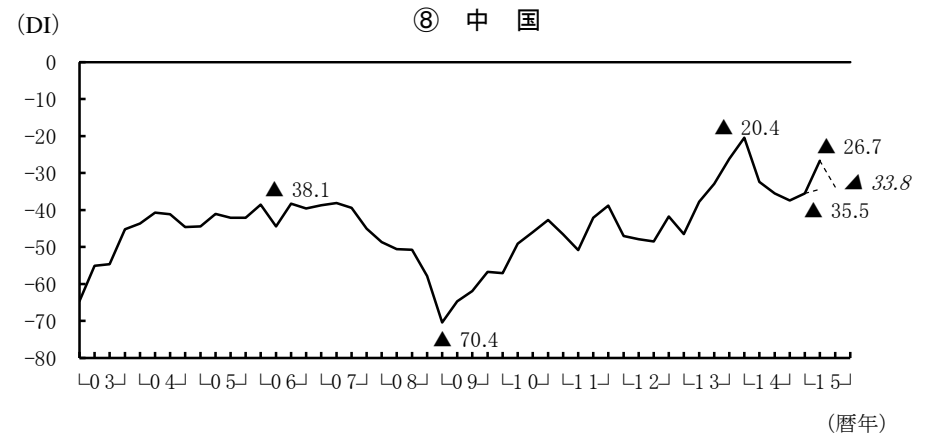
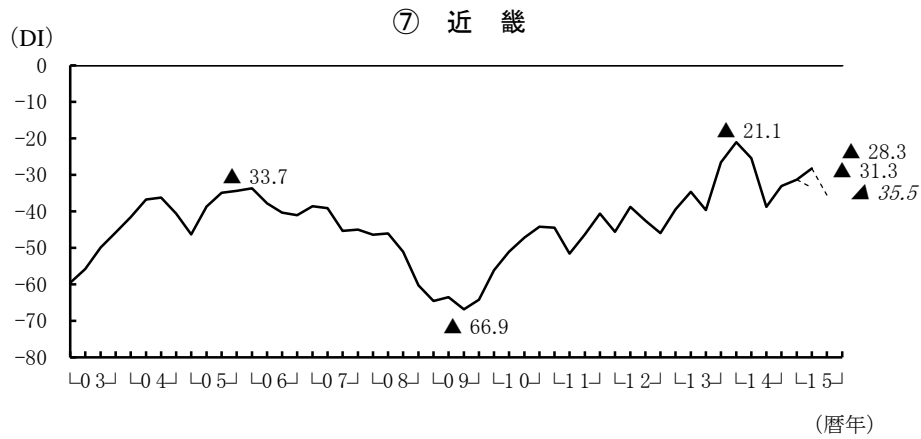
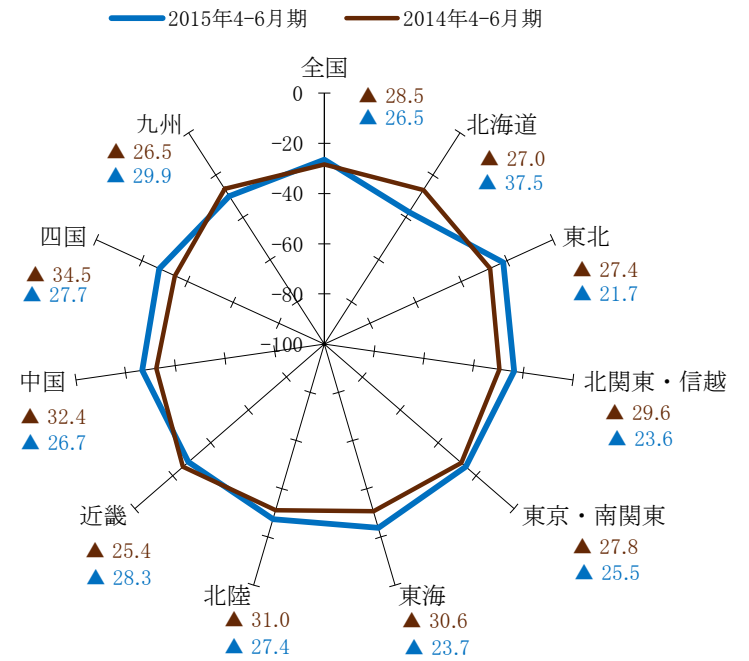


図-1-3 地域別業況判断DIの推移





(参考) 1年前 (2014年4-6月期) の水準との比較

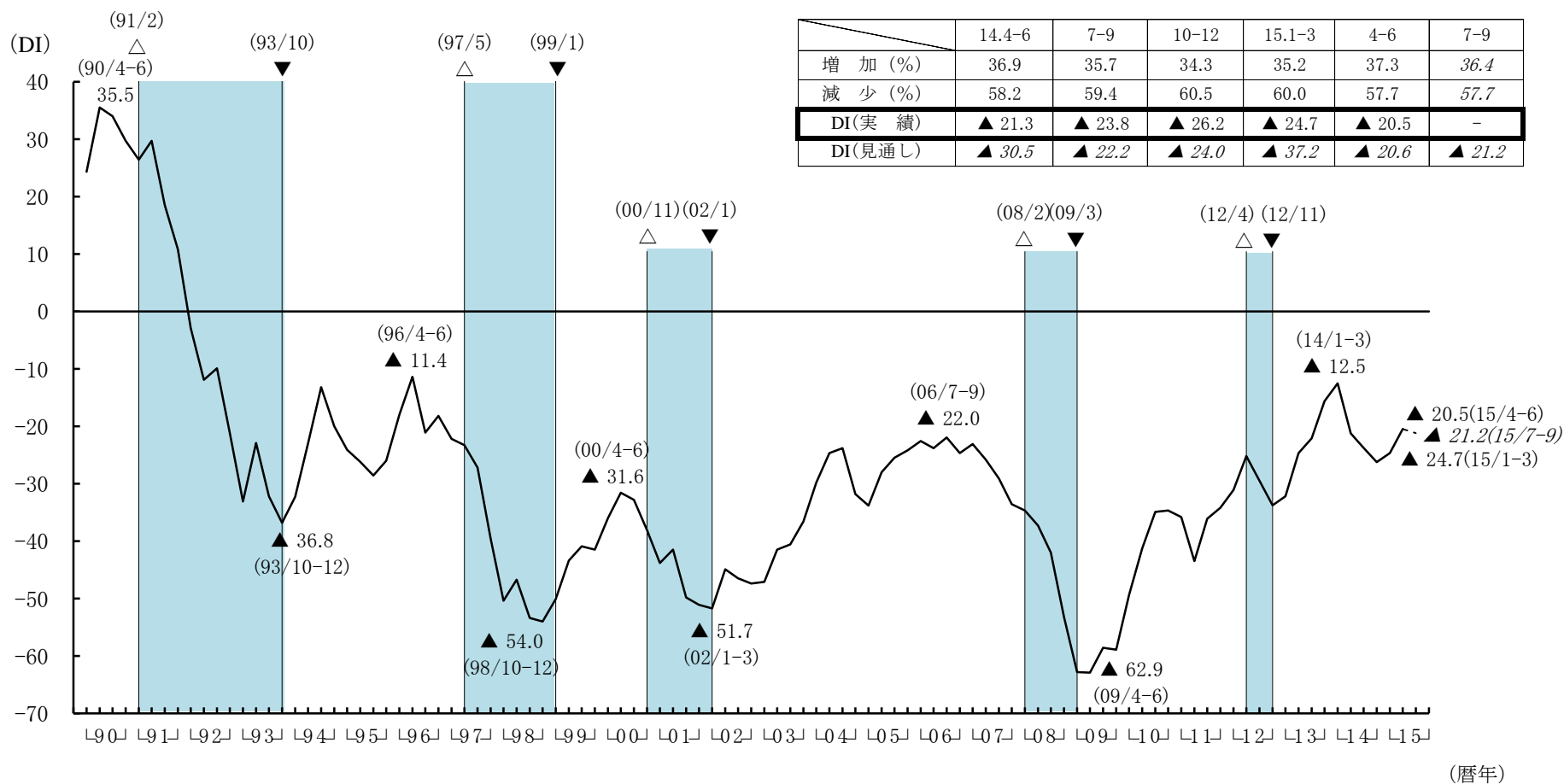


(注) 各地域の値は、上段が1年前、下段が今期を示している。

## 2 売上

- 売上DI(全業種計)は、前回調査に比べてマイナス幅が4.2ポイント縮小し、▲20.5となった。マイナス幅の縮小は2期連続である。
- 来期は、マイナス幅が0.7ポイント拡大する見通しとなっている。

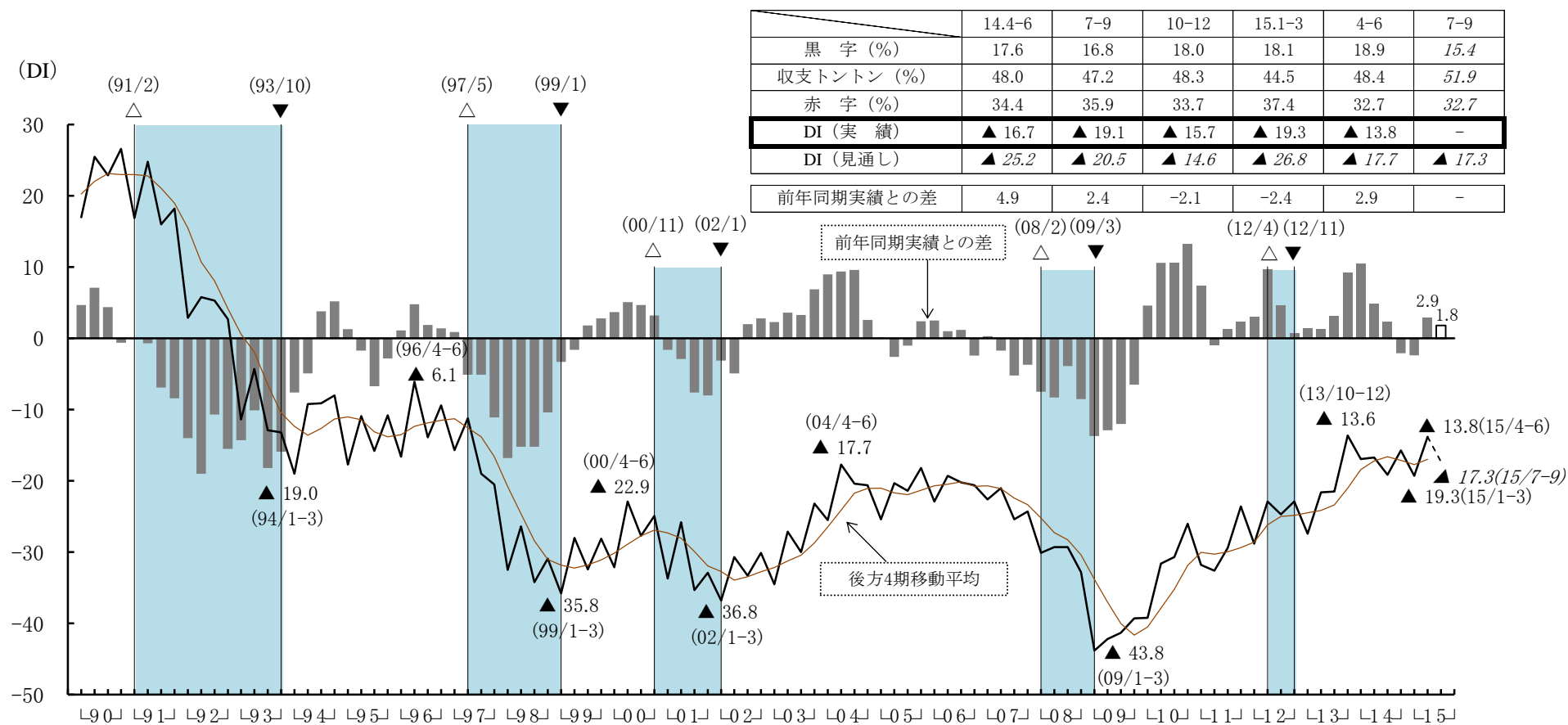
図－2 売上DIの推移（全業種計）



### 3 採算

- 採算DI(全業種計)は、前回調査に比べてマイナス幅が5.5ポイント縮小し、▲13.8となった。前年同期実績と比べると、3期ぶりに上回っている。
- 来期は、マイナス幅が3.5ポイント拡大する見通しとなっている。

図－3 採算DIの推移（全業種計）



(注) 1 DIは、「黒字」と回答した企業割合から「赤字」と回答した企業割合を差し引いた値。

2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

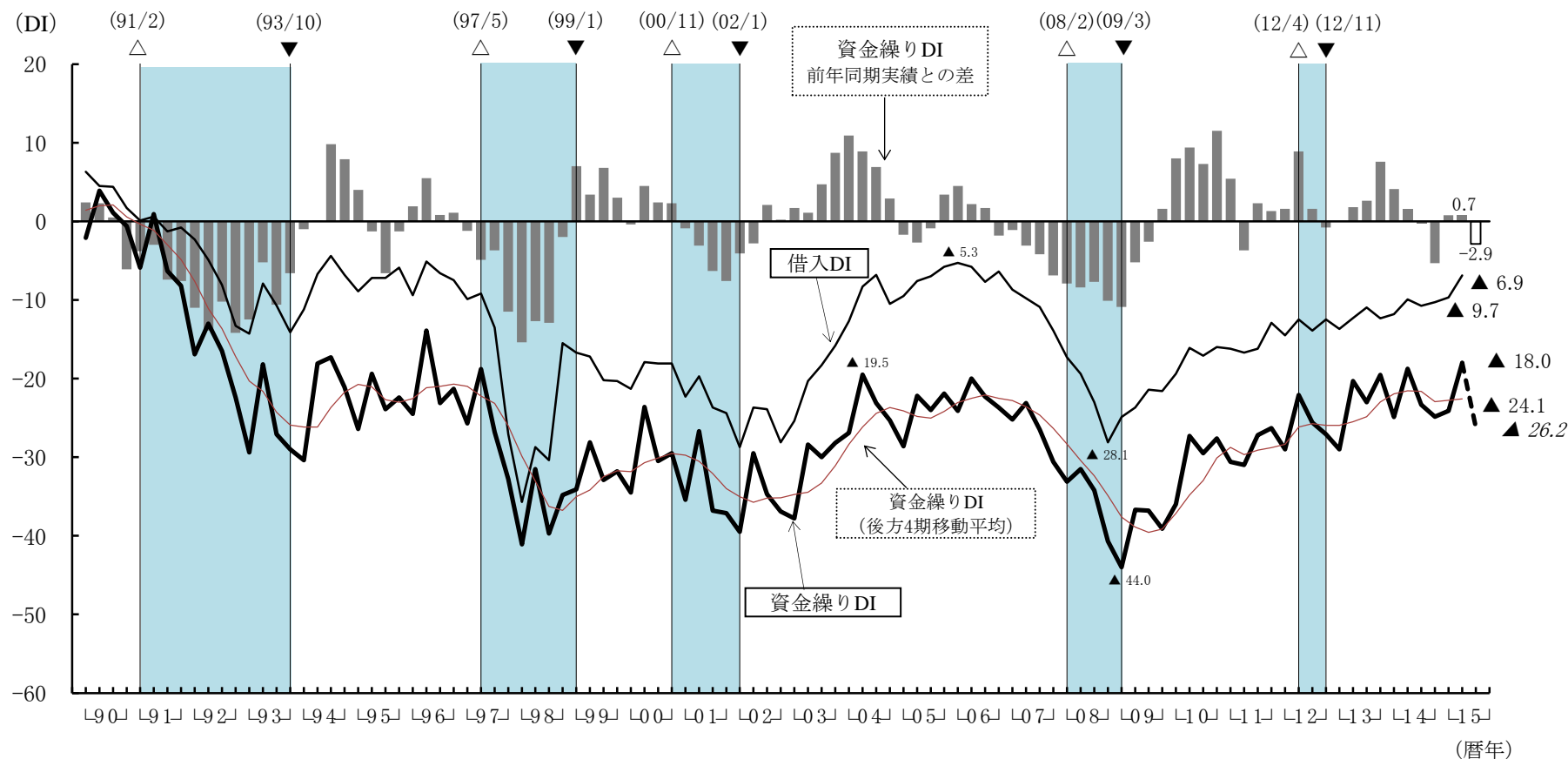
3 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

(暦年)

## 4 資金繰り、借入

- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、マイナス幅が6.1ポイント縮小し、▲18.0となった。来期は、マイナス幅が8.2ポイント拡大する見通しとなっている。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、マイナス幅が2.8ポイント縮小し、▲6.9となった。

図－4 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）

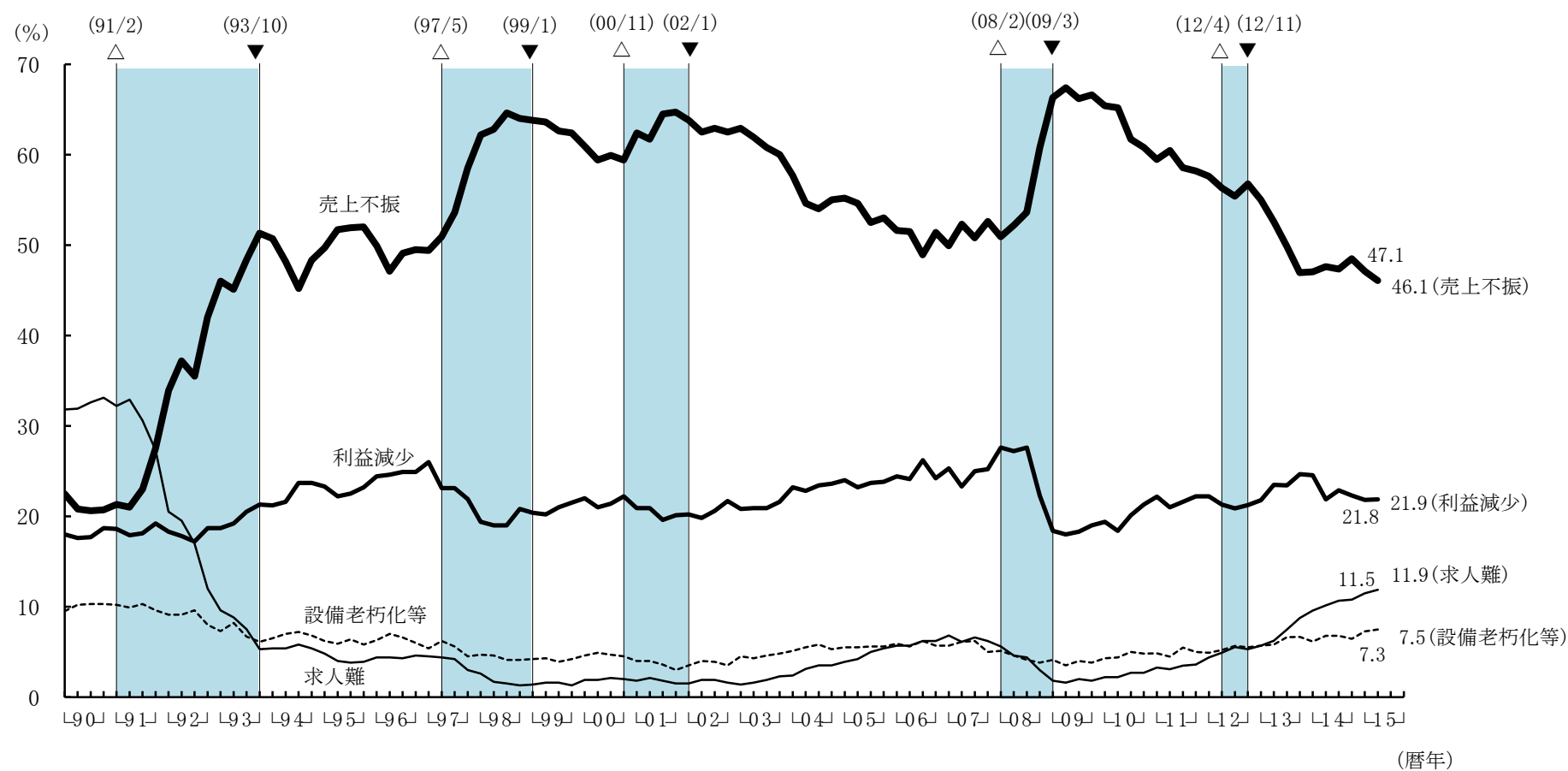


- (注) 1 資金繰りDIは、前期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 借入DIは、前期比で「容易になった」と回答した企業割合から「難しくなった」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 3 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。  
 4 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

## 5 経営上の問題点

○ 当面の経営上の問題点（全業種計）をみると、「売上不振」が46.1%と依然として最も多く、次いで、「利益減少」（21.9%）、「求人難」（11.9%）の順となっている。「求人難」は、10期連続で上昇している。

図－5 経営上の問題点の推移（全業種計、上位4項目）



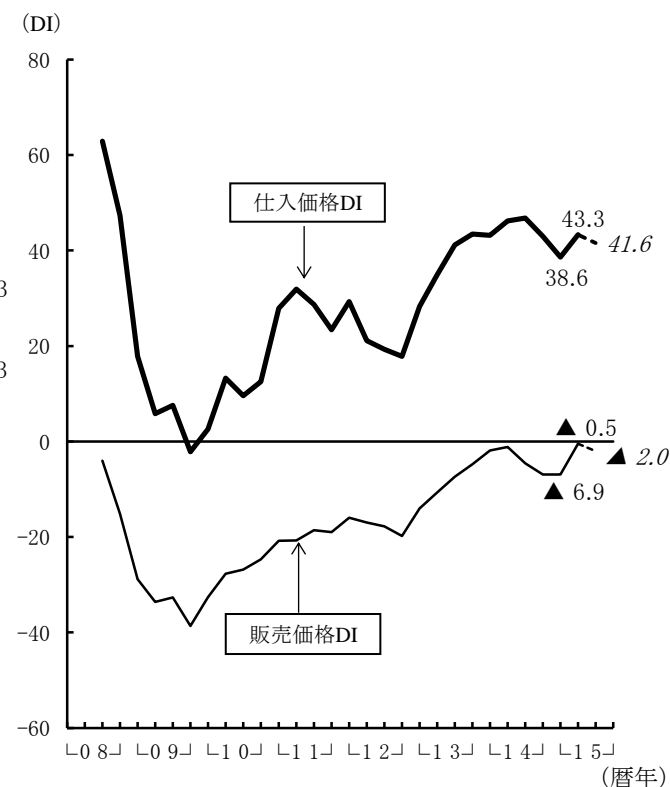
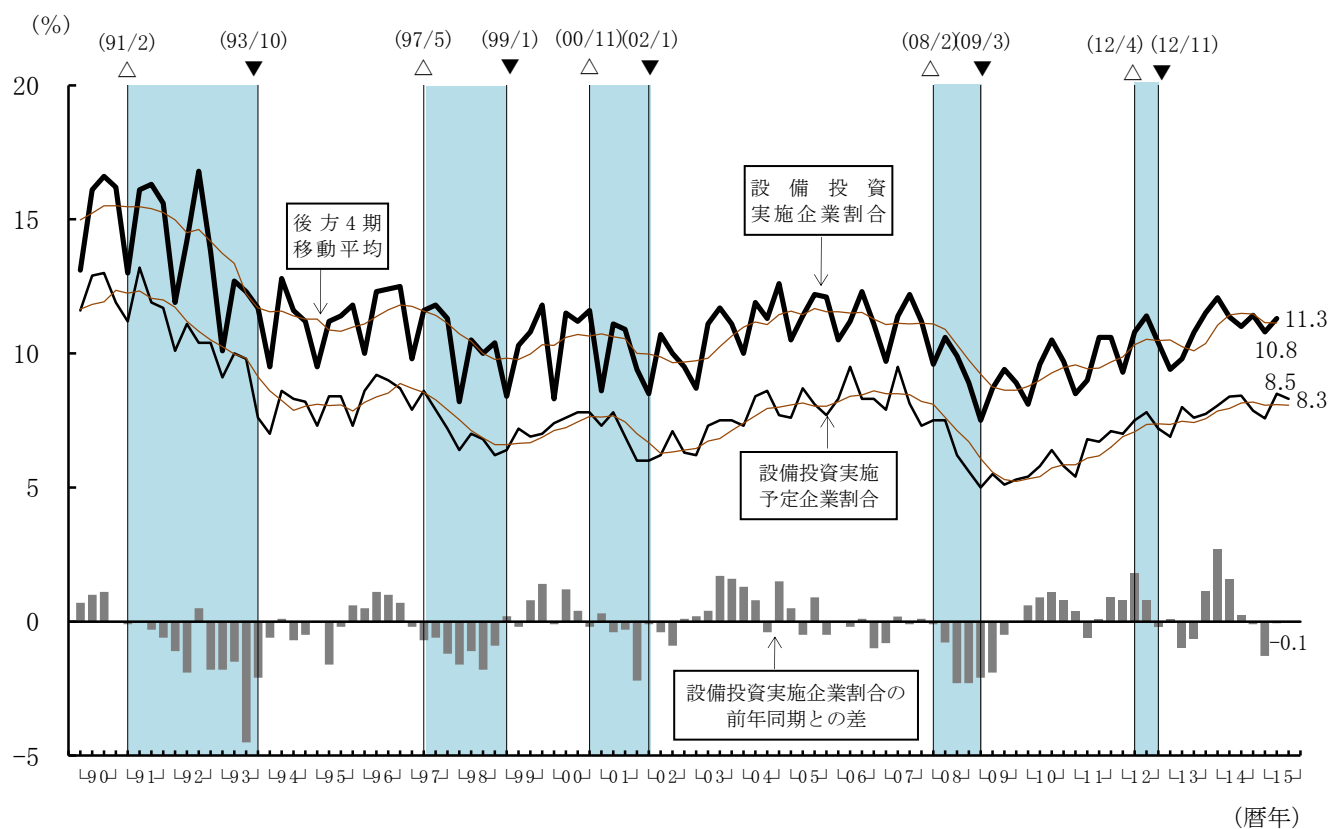
(注) 経営上の問題点（上位4項目）とは、当面の経営上の問題点について択一式で回答を求め、上位4位までを示したものの。

## 6 設備投資、価格動向

- 今期の設備投資実施企業割合（全業種計）は、0.5ポイント上昇し、11.3%となった。
- 今期の販売価格DI（全業種計）は、前回調査からマイナス幅が6.4ポイント縮小し、▲0.5となった。来期は、マイナス幅が1.5ポイント拡大する見通しとなっている。
- 今期の仕入価格DI（全業種計）は、4.7ポイント上昇し、43.3となった。来期は、1.7ポイント低下する見通しとなっている。

図－6 設備投資実施企業、実施予定企業割合の推移（全業種計）

図－7 販売価格DI、仕入価格DIの推移（全業種計）



- (注) 1 DIは、前年同期比で「上昇」と回答した企業割合から「低下」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。  
 3 2008年7-9月期から調査を実施。



# 中 小 企 業 編

(2015年4－6月期実績、7－9月期および10－12月期見通し)

## 中小企業の景況は、緩やかに回復している

### [概況]

- ・業況判断DIは、前期（2015年1－3月期）から上昇し2.8となった。来期（2015年7－9月期）は上昇して4.5になり、来々期（2015年10－12月期）は6.1になる見通しである。
- ・売上DIは、前期から上昇し、3.6となった。来期は上昇して10.8になり、来々期は11.8になる見通しである。
- ・純益率DIは、前期から上昇し、**▲5.7**となった。来期は上昇して**▲3.9**になり、来々期は**▲1.6**になる見通しである。
- ・販売価格DIは、前期から低下し、6.1となった。来期は上昇、来々期は横ばいとなる見通しである。
- ・仕入価格DIは、前期から低下し、45.1となった。来期は低下、来々期は上昇する見通しである。
- ・資金繰りDI、短期借入難易DIは前期から低下し、長期借入難易DIは上昇した。

## [調査の実施要領]

調 査 時 点	2015年6月中旬
調 査 対 象	当公庫取引先（原則従業員20人以上） 13,739社
有 効 回 答 数	6,912 社 [回答率 50.3 %]

### <業 種 構 成>

	調 査 対 象	有 効 回 答 数		
製 造 業	5,543 社	2,916 社	(構成比	42.2 %)
鉱 業	25 社	13 社	( 同	0.2 %)
建 設 業	1,105 社	615 社	( 同	8.9 %)
運送業(除水運)	720 社	362 社	( 同	5.2 %)
水 運 業	158 社	98 社	( 同	1.4 %)
倉 庫 業	89 社	46 社	( 同	0.7 %)
情 報 通 信 業	276 社	123 社	( 同	1.8 %)
ガ ス 供 給 業	19 社	12 社	( 同	0.2 %)
不 動 産 業	985 社	432 社	( 同	6.3 %)
宿泊・飲食サービス業	533 社	214 社	( 同	3.1 %)
卸 売 業	1,942 社	1,007 社	( 同	14.6 %)
小 売 業	1,059 社	492 社	( 同	7.1 %)
サ ー ビ ス 業	1,285 社	582 社	( 同	8.4 %)

### (参 考)

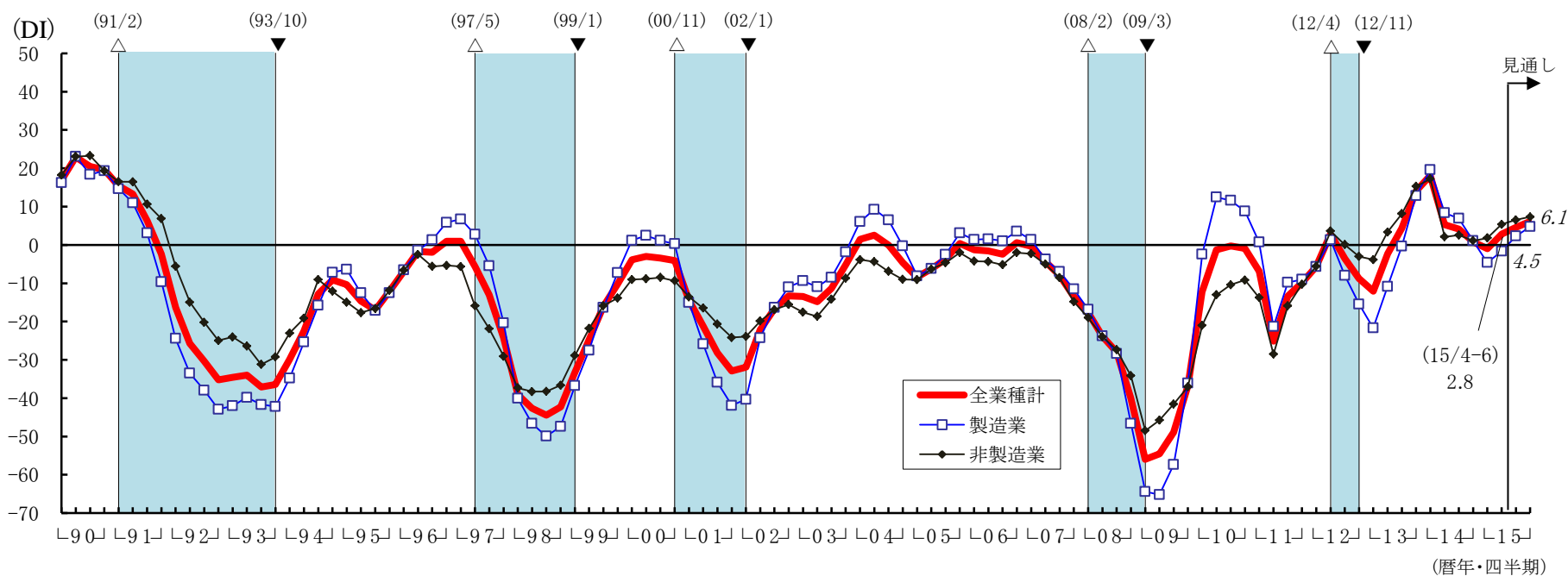
資本金	100 万 円 未 満	56 社	(構成比	0.8 %)
同	100 万 ~ 300 万 円 未 満	107 社	( 同	1.5 %)
同	300 万 ~ 1,000 万 円 未 満	585 社	( 同	8.5 %)
同	1,000 万 ~ 5,000 万 円 未 満	4,559 社	( 同	66.0 %)
同	5,000 万 円 ~ 1 億 円 未 満	1,252 社	( 同	18.1 %)
同	1 億 ~ 3 億 円 未 満	277 社	( 同	4.0 %)
同	3 億 円 以 上	76 社	( 同	1.1 %)

# 1 業況判断

- 今期（2015年4－6月期）の業況判断DIは、前期（2015年1－3月期）から3.8ポイント上昇し、2.8となった。製造業は3.0ポイント上昇し▲1.6に、非製造業は3.6ポイント上昇し5.4になった。
- 来期（2015年7－9月期）は、上昇して4.5になり、来々期（2015年10－12月期）は6.1になる見通しである。

図－1 業況判断DIの推移（季節調整値）

	2014/4-6	2014/7-9	2014/10-12	2015/1-3	2015/4-6 (前回見通し)	2015/7-9 (前回見通し)	2015/10-12
業況判断DI (季節調整値)	5.3	4.1	0.8	▲1.0	2.8 (6.4)	4.5 (11.0)	6.1
製 造 業	8.4	6.9	1.1	▲4.6	▲1.6 (4.0)	2.3 (10.7)	4.7
非 製 造 業	2.1	2.6	1.1	1.8	5.4 (8.1)	6.5 (10.8)	7.3



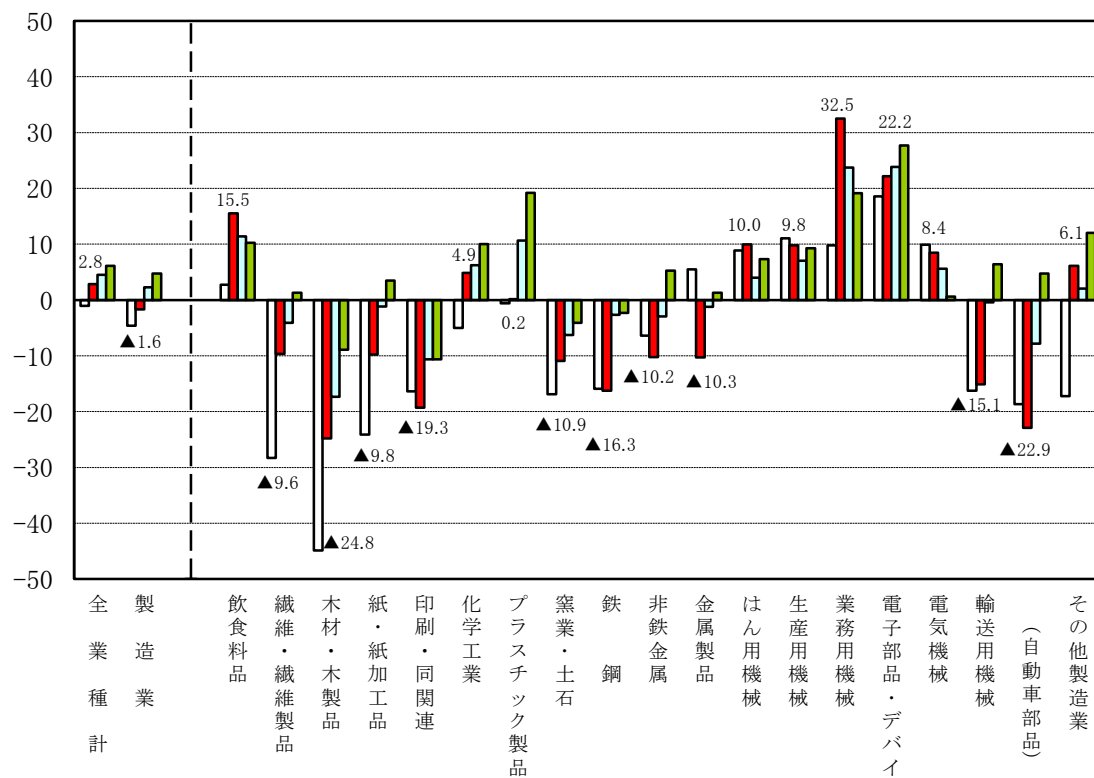
- (注) 1 業況判断DIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値（季節調整値）。  
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。  
 3 今期調査において季節調整値の改定を実施した（以下同じ）。

- 今期の業況判断DIを業種別にみると、製造業は、飲食料品、はん用機械、生産用機械、業務用機械、電子部品・デバイスなどでプラス水準となった。一方、木材・木製品、印刷・同関連、窯業・土石、鉄鋼、輸送用機械などでマイナス水準となった。来期以降は、今期マイナス水準にある業種を中心に、DIは上昇する見通しとなっている。
- 非製造業は、多くの業種でDIはプラス水準となり、小売業では、5期ぶりにプラスとなった。来期以降も、多くの業種でプラス水準となる見通しである。

図－2 業種別業況判断DIの推移（季節調整値）

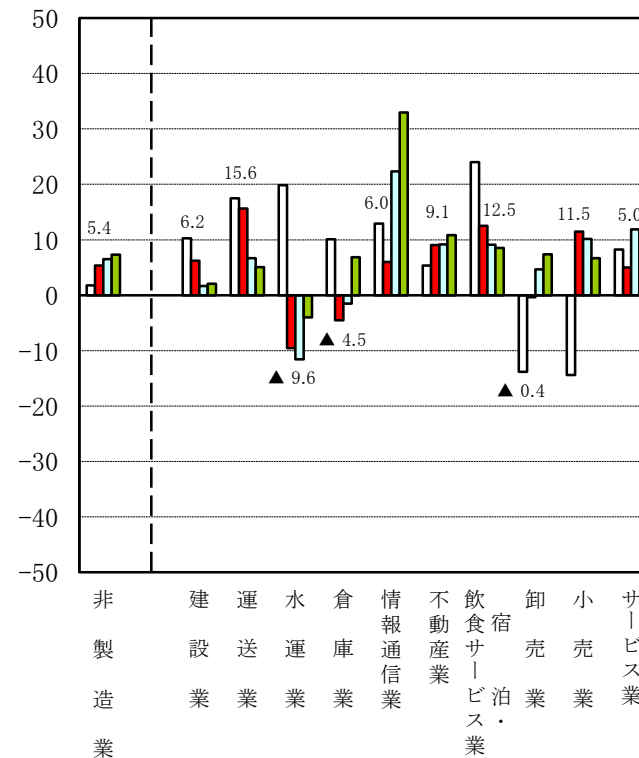


－製造業－  
(DI)



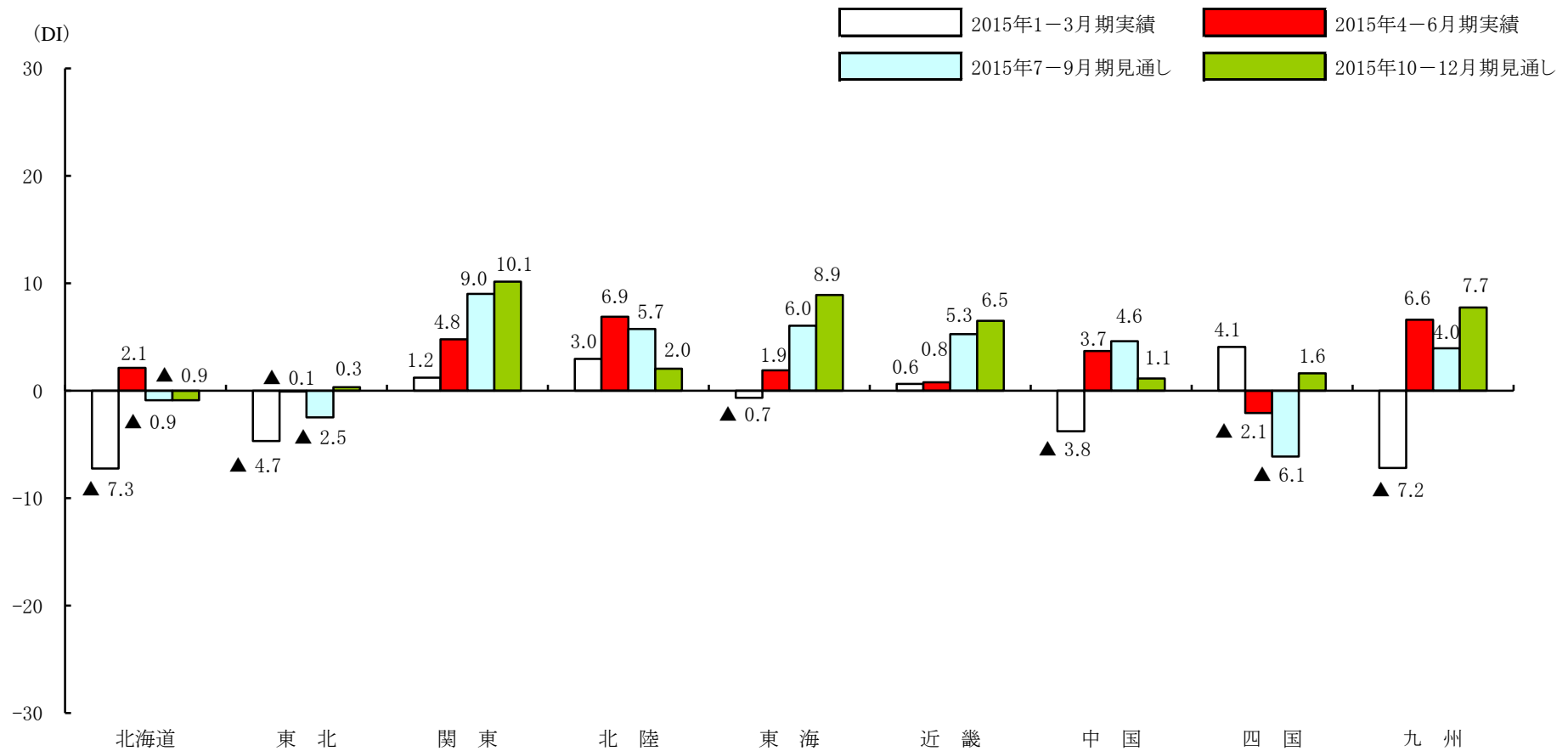
(注) 図中の数字は、今期の実績値を示す。

－非製造業－  
(DI)



- 業況判断DIを地域別にみると、北海道、関東、北陸、東海、近畿、中国、九州の7地域でプラス水準となっている。
- 来期は6地域で、来々期は8地域でプラス水準となる見通しである。

図－3 地域別業況判断DI（季節調整値）

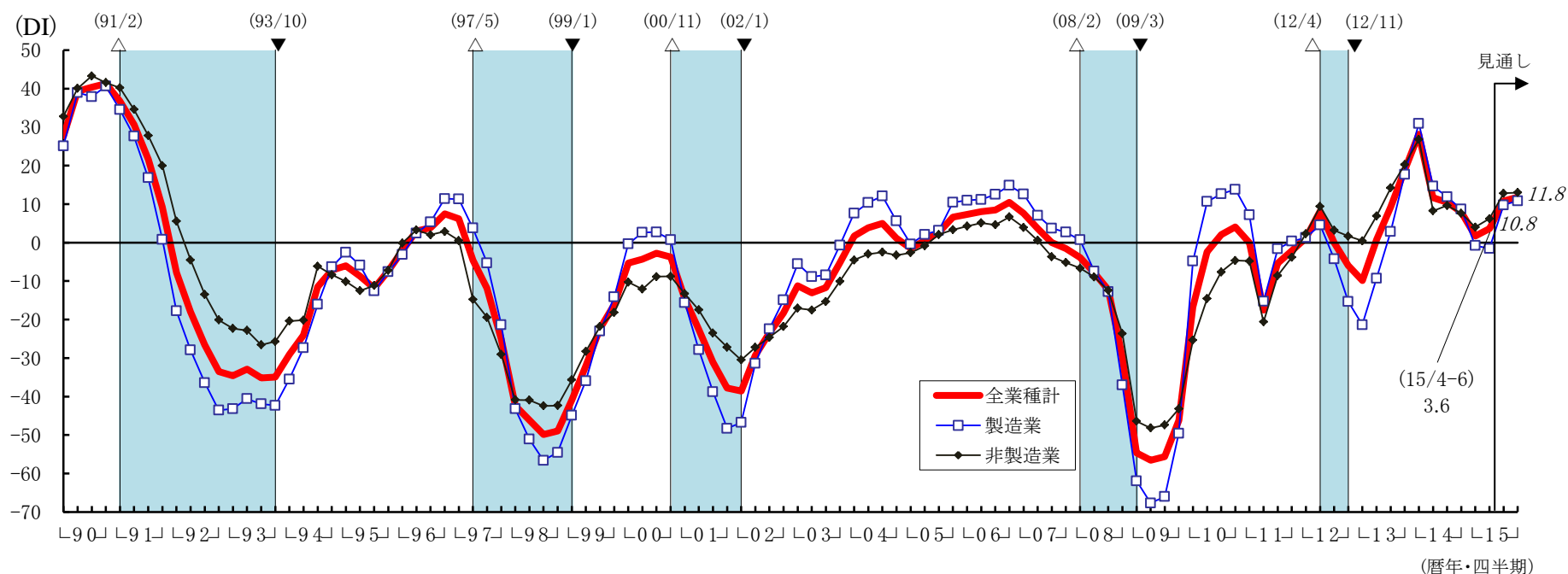


## 2 売 上

- 今期の売上DIは、前期から1.9ポイント上昇し3.6となった。
- 来期は上昇して10.8になり、来々期は11.8になる見通しである。

図－4 売上DIの推移（季節調整値）

	2014/4-6	2014/7-9	2014/10-12	2015/1-3	2015/4-6 (前回見通し)	2015/7-9 (前回見通し)	2015/10-12
売上DI (季節調整値)	11.7	10.5	7.9	1.7	3.6 ( 11.9)	10.8 ( 14.6)	11.8
製 造 業	14.6	11.9	8.7	▲ 0.8	▲ 1.5 ( 11.5)	9.8 ( 16.1)	10.8
非 製 造 業	8.2	9.6	7.6	4.0	6.2 ( 11.8)	12.8 ( 13.4)	13.0



(注) 1 売上DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。

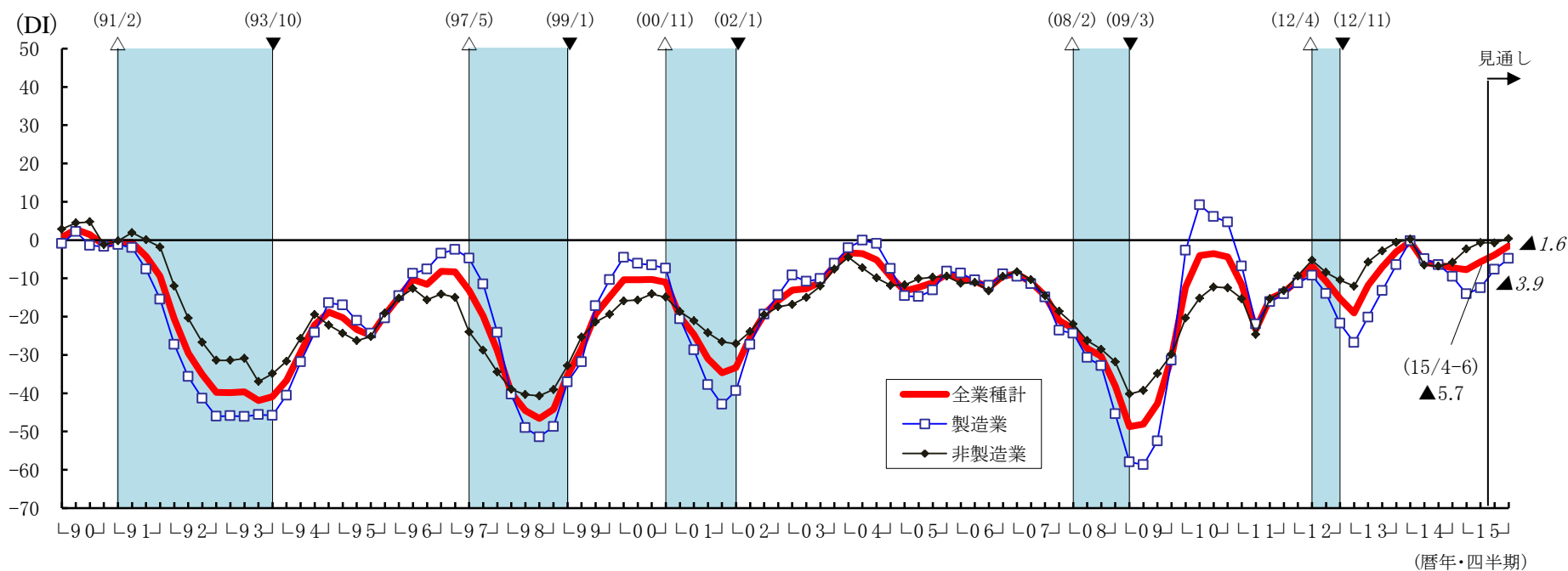
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

### 3 利益

- 今期の純益率DIは、前期から2.0ポイント上昇し▲5.7となった。
- 来期は上昇して▲3.9になり、来々期は▲1.6になる見通しである。

図－5 純益率DIの推移（季節調整値）

	2014/4-6	2014/7-9	2014/10-12	2015/1-3	2015/4-6 (前回見通し)	2015/7-9 (前回見通し)	2015/10-12
純益率DI (季節調整値)	▲ 5.7	▲ 6.5	▲ 7.2	▲ 7.7	▲ 5.7 (▲ 2.6)	▲ 3.9 ( 0.0)	▲ 1.6
製 造 業	▲ 4.9	▲ 6.4	▲ 9.5	▲ 14.1	▲ 12.5 (▲ 7.1)	▲ 7.7 (▲ 2.6)	▲ 4.8
非 製 造 業	▲ 6.5	▲ 6.8	▲ 5.8	▲ 2.4	▲ 0.7 ( 0.9)	▲ 0.8 ( 2.0)	0.4



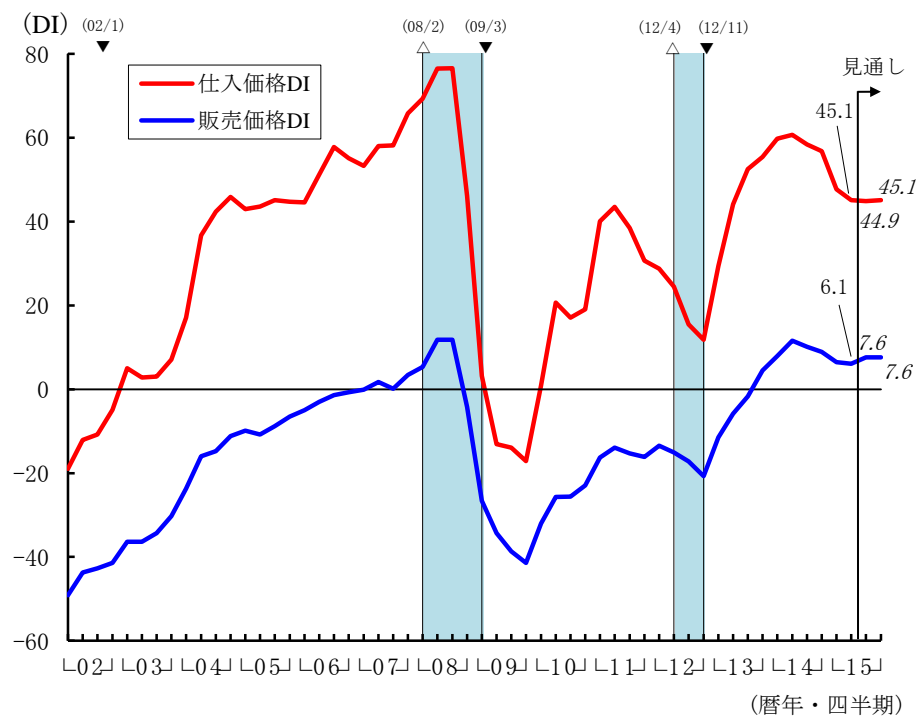
- (注) 1 純益率DIは、前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（季節調整値）。  
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

## 4 価格、金融関連

- 今期の販売価格DIは、0.4ポイント低下し6.1となった。仕入価格DIは、2.6ポイント低下し45.1となった。低下はいずれも4期連続である。来期は、販売価格DIは上昇、仕入価格DIは低下する見通しとなっている。
- 今期の資金繰りDI、短期借入難易DIは前期から低下し、長期借入難易DIは上昇した。

図－6 価格関連DIの推移（原数値）

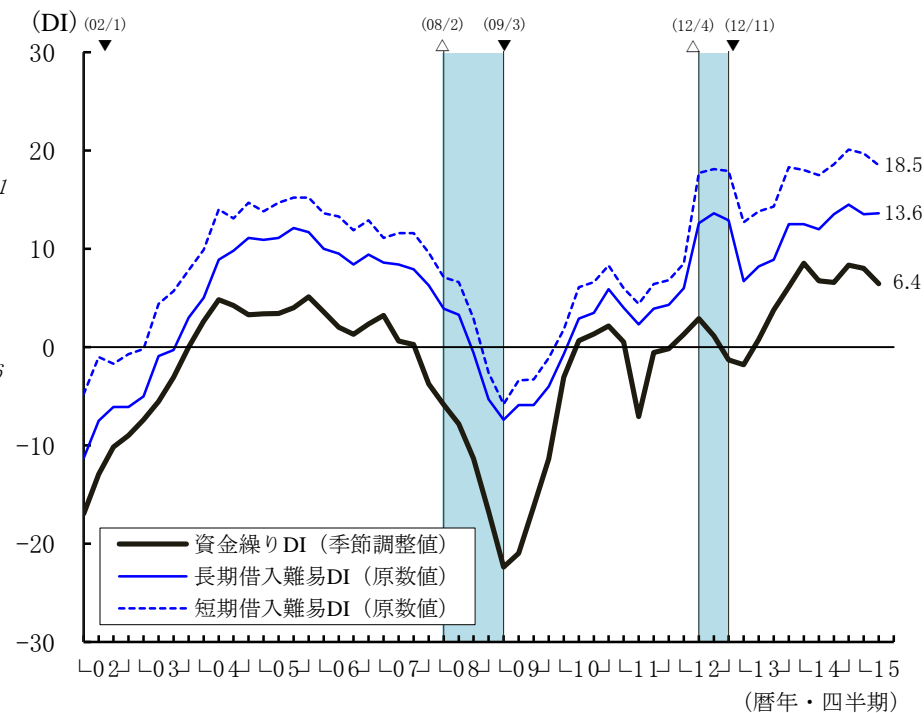
	2014/4-6	2014/7-9	2014/10-12	2015/1-3	2015/4-6	2015/7-9	2015/10-12
販売価格DI	11.6	10.1	8.9	6.5	6.1	7.6	7.6
仕入価格DI	60.7	58.4	56.8	47.7	45.1	44.9	45.1



- (注) 1 仕入価格DI、販売価格DIともに前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（原数値）。  
2 図中の数字は今期実績および見通し（斜体）の値を示す。

図－7 金融関連DIの推移

	2014/4-6	2014/7-9	2014/10-12	2015/1-3	2015/4-6
資金繰りDI（季節調整値）	6.8	6.6	8.3	8.0	6.4
長期借入難易DI（原数値）	12.0	13.5	14.5	13.5	13.6
短期借入難易DI（原数値）	17.5	18.6	20.1	19.7	18.5



- (注) 1 資金繰りDIは、前年同期比で「好転」企業割合－「悪化」企業割合（季節調整値）。  
2 借入難易DIは、前年同期比で「容易」企業割合－「困難」企業割合（原数値）。  
3 図中の数字は今期の実績値を示す。

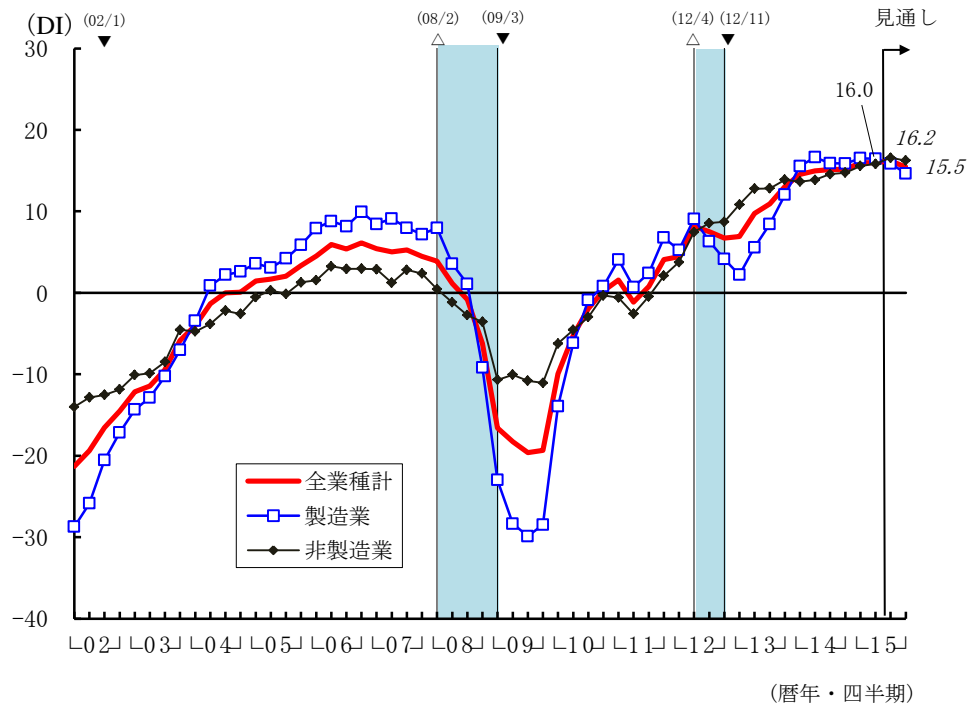


## 5 雇用、設備

- 今期の従業員DIは前期から上昇し16.0となった。来期は上昇する見通しである。
- 今期の設備投資実施企業割合は、37.8%となった。

図－8 従業員DIの推移（季節調整値）

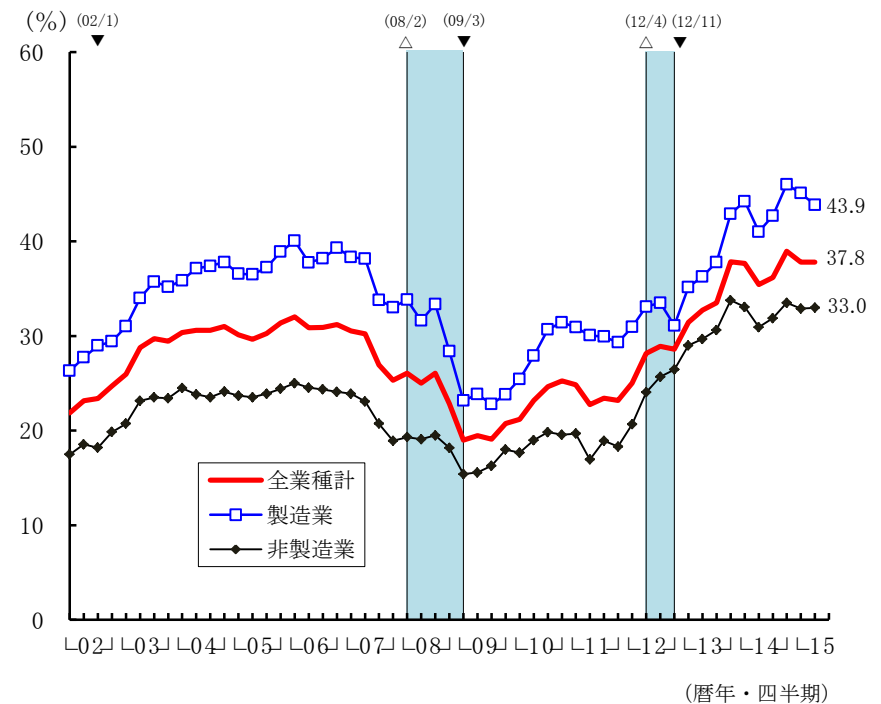
	2014/4-6	2014/7-9	2014/10-12	2015/1-3	2015/4-6	2015/7-9	2015/10-12
全業種計	15.0	15.1	15.2	15.9	16.0	16.2	15.5
製造業	16.6	15.9	15.9	16.5	16.4	15.9	14.6
非製造業	13.9	14.6	14.7	15.6	15.8	16.6	16.2



(注) 1 従業員DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。  
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

図－9 設備投資実施企業割合の推移（季節調整値）

	2014/4-6	2014/7-9	2014/10-12	2015/1-3	2015/4-6
全業種計	35.4	36.2	39.0	37.8	37.8
製造業	41.0	42.7	46.0	45.1	43.9
非製造業	30.9	31.9	33.5	32.9	33.0



(注) 図中の数字は今期の実績値を示す。

## 6 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点をみると、「売上・受注の停滞、減少」が37.9%と最も多く、次いで、「求人難」（19.7%）、「原材料高」（13.6%）となっている。
- 前回調査と比べると、「売上・受注の停滞、減少」は1.8ポイント上昇した。「求人難」は0.5ポイント低下したものの、引き続き高い水準となっている。

図-10 経営上の問題点の推移

